



2014.12.1

12月ちとせだより

神戸YMCAちとせ幼稚園

今年もクリスマスの時がやってきます。クリスマスに合わせて大切な人、愛する人にプレゼントを贈る習慣は全世界に広がっています。同時にクリスマスは、国や宗教の壁を超えて人々が愛し合うことの大切さを思い出す時でもあります。

“神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。”（ヨハネの手紙：4章9～11）

イエスはその生涯を通して、愛することの大切さを私たちに示してくれました。憎しみと争いが連鎖する社会ではなく、許しと平和にあふれた世界を創造することが私たち人間に課せられた使命です。しかし、未だに人間は自分の側の国家、宗教などを絶対視して、それとは異なる民族、宗教を排除しようとしていますし、また自分の側の利益だけを考える人間は、他者の不利益や困窮などの状況を顧みることではなく、自分の側の論理だけを振りかざします。

幼稚園で子どもたちは、世界YMCA・YWCA合同祈禱週に自分中心の祈りではなく他者のために祈ることを経験し、また国際協力募金を通して自分の小さな力でも他者のために役立つことを知っていきます。そして、クリスマスを迎える4週間前からアドベント（待降節・降臨節）に入り、クリスマスを迎える心の準備を行っていきます。

子どもたちが、他者への思いやりと、分かち合う喜びを持ち続けて成長することを祈り、感謝と喜びをもって共にクリスマスを迎えたいと思います。

年主題 「あふれる愛 これからもともに」

12月主題 「喜び合う」

聖句 “「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせて下さったその出来事を見ようではないか」”
(ルカによる福音書2章15)